



佐々木小

～一人一人が輝き、幸せな学校～

令和7年4月21日
新発田市立佐々木小学校
学校だより 第2号



支え合う心！

新年度がスタートして、2週間が過ぎました。入学したばかりの1年生ものびのびと毎日
を過ごしています。あっという間に佐々木小学校は、120名の素敵なファミリーです。

4月初めは、6年生が1年生の教室に行って、絵本の読み聞かせをしたり、朝の準備のお
手伝いをしたりと、1年生に親切に接していました。1年生の子どもたち、優しいお兄さん、
お姉さんに支えられて、さぞかし安心したことでしょう。また、6年生も、自分たちに信頼
を寄せてくる1年生に接して、最高学年としての自覚がさらに増したのではないのでしょうか。

歳の差はあっても、お互い支え合い、助け合う存在です。ほんの朝のひとときの場面です
が、子どもたちの姿から、一人一人が思いやりの気持ちをもったかけがえのない存在である
ことを感じさせてくれた瞬間でした。

学校は、多くの子どもたちが、かかわり合って成長していく場です。授業、登校班、清掃、
児童会活動、休み時間など、様々な機会や場において、学年の枠を越え、子どもたちがかか
わり合います。このかかわりの機会や場がさらに広がり、全校みんなで支え合う心がか
もって育まれていくことでしょう。さわやかで素敵な4月の佐々木小学校でした・・・。



一人一人が輝き、幸せな学校

教育目標 ・自分で深く考える子 ・思いやりをもって助け合う子 ・頑張ってやりとげる子

新潟県学校教育の重点

新発田市の学校教育の指針

子どもの願い・保護者の願い・地域の願い

新発田市の重点取組項目

- ・しばたの心継承プロジェクト
- ・食とみどりの新発田っ子プラン
- ・ゼロカーボンの取組・特別支援教育・人権教育、同和教育

家庭・地域との連携の充実

- ・PTA
- ・学校評議委員会
- ・地域J-データー
- ・学習支援ボランティア
- ・佐々木コミュニティ

重点目標

知（学習指導・学習習慣）

- 学習が分かる・できる喜びを実感できる子
- 進んで学習に取り組む子

徳（基本的生活習慣・人間関係づくり）

- しっかりとあいさつや返事をする子
- お互いを認め合い、協力し合う子

体（体育学習・食育・健康生活）

- 運動を楽しみ、進んで運動する子
- 自分が食べられる量を定められる子

方 策

- 児童の主体性を伸ばす多様な学び方を取り入れた授業の実施（個別最適な学び、協働的な学び、対話に重点を置いた授業）
- モジュールタイムの活用による基礎基本の定着（習熟度確認と個別指導の機会の確保）
- 中学校と連携した家庭学習強調週間の設定

- 日常生活で「はい オアシス」の指導
- あいさつ運動の工夫（中学校・PTAとの連携）
- たてわり班等における活動の充実（たてわり班遊び・清掃・遠足・学習 等）
- 温かいメッセージを伝え合う場の設定

- 運動する楽しさを実感できる体育学習の充導（重点目標、自分のたてためあての達成）
- 学習カードの工夫
- 食に関する指導・活動の充実（食育指導・お弁当の日・栽培活動 等）
- 元気チェック週間の設定

学校で 幸せを実感する ささきっ子
「一人一人が輝き、しあわせな学校」



「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

- ・個別最適な学び(指導の個別化・学習の個性化)の実現
- ・対話のある、協働的な学びの実現
- ・ICT の積極的活用

学びの デザイン

日々の教育活動

子どもの学びを支える教職員集団

- ・職員研修の充実（子どもの主体的な学びを支援する指導力の向上）
- ・多様なスタッフ等と連携したチーム力の向上

保・幼・小の連携促進

- ・幼・保・小架け橋プログラム「ささきっこプラン」の策定と実施
- ・小中連携「佐々木中学校との交流事業」





教育目標の具現化に向けて ～グランドデザインについて～



校長 金平 弘之郎

今年度の佐々木小学校のグランドデザインを策定しました。学校は、毎日、事細かな計画で、日々の授業を始めとして様々な業務を進めています。子どもたちの健やかな成長を目指して、目に見えない、言葉に表すことができないくらいの学校全体、教職員一人一人の毎日・毎時間の動きがあります。そんな複雑・多様な学校ですが、グランドデザインは、学校の目指している根底を見失わないように方向性（目指す姿）をイメージ化したものです。

私たちは、「世界」と言葉で聞くと頭の中でおぼろげな点々のイメージしか湧いてきませんが、「世界地図」を見ると、行っていない国でも、位置・私たちとのつながり・人々の暮らしなどが何となくイメージでき、点が線になってくるものです。そんなふうに考えると、グランドデザインは、学校の地図ということでしょう。

今年度は、昨年度までの積み上げを大切にしながら、「知育」・「徳育」・「体育」の3つの柱において、重点目標及び方策の基本方針を定めました。「知育」では、子どもたちの学習への主体性をさらに高めようと従来の教育方法のみならず、先生たちが創意工夫し多様な学びにチャレンジしていきます。そして、子どもたち一人一人の習熟度を高め、学習への苦手意識を減らせるような取組をしていきます。「徳育」では、これまでの成果を継続し、「あいさつ」から人と人とのつながりを築く取組を深めます。また、全校が仲間であることを意識させ、たてわり班活動の幅を広げていきます。「体育」では、運動の楽しさ、気持ちよさを味わわせ、「食」を通じて健康な体づくりと健康に対する意識を高めていきます。

そして、さらに大切にしたいことをいくつか前面に示しました。一つ目は「家庭・地域との連携の充実」です。学校を支えてくれる佐々木地区の全体の力をたくさん生かしたいとの思いからです。

また、子育ては小学校だけではありません。幼稚園、子ども園、保育園、中学校との連携も大切です。特に過去、幼児教育に関わってきた私の思いから、保・幼・小の連携「架け橋プログラム」をおおいに推進したいと考え、グランドデザインの根底に大きく位置付けました。1年生もたくさんの機会に主役として活躍できる学校を目指します。

みんなが、毎日楽しく、希望をもって過ごせる「幸せな学校」を目指します。



桜と校舎



始業式



読み聞かせの時間